「処方箋への検査値表示がレボフロキサシンの適正使用に与える影響」の研究

1. 研究の対象

2026 年 5 月 1 日から 10 月 31 日までに磐田市立総合病院でレボフロキサシンを院内で投与された患者様

2. 研究目的・方法

レボフロキサシン（LVFX）は腎臓で排泄型の抗菌薬であり、腎機能が低下した患者さんではその機能に応じた用法用量の調整が必要です。適切な投与設計には血清クレアチニンなどの検査値を確認し、腎機能を評価する必要がありますが、検査値の確認に手間を要することが課題となっていたため、処方箋に検査値を印字できるようにしました。

本研究は、処方箋への腎機能検査値を表示することでレボフロキサシンの腎機能に応じた投与設計の適正化に与える影響を検討することを目的としています。検査値表示前後のレボフロキサシンが処方された患者さんを対象に、過去の電子カルテの情報を集積し腎機能に応じた用法用量の比較を行います。

研究期間は、病院長許可日から 2027 年 12 月 31 日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

院内でレボフロキサシンの内服・注射薬を使用された患者様を対象に年齢、性別、体重、血清クレアチニン値を使用します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

研究責任者:磐田市立総合病院　薬剤部　片桐崇志
静岡県磐田市大久保 512-3　0538-38-5000